

2009年第2四半期決算説明会

株式会社ブリヂストン
2009年8月7日

業績概要

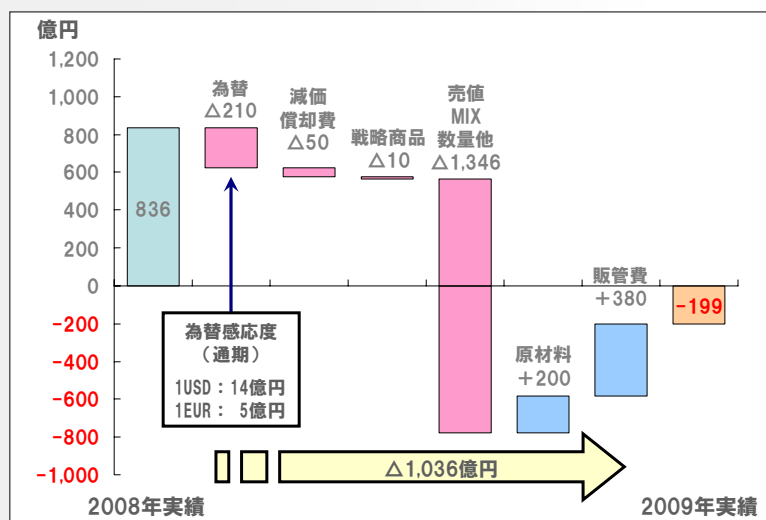
2009年第2四半期 連結決算概要

(単位: 億円) 参考
【'09/6/25発表】

	2008年 第2四半期 累計実績	2009年 第2四半期 累計実績	増減(%)	2009年 第2四半期 累計予想
売上高	16,411	12,053	△27	12,100
タイヤ部門	13,276	9,904	△25	
多角化部門	3,218	2,197	△32	
営業利益(*)	836	△199	—	△280
経常利益(*)	686	△338	—	△440
四半期純利益(*)	372	△383	—	△460
(*) : △は損失	USDドル 106円 ユーロ 162円	96円 128円	△10円 △34円	96円 127円

3

連結営業利益増減要因 (2009年第2四半期累計)



4

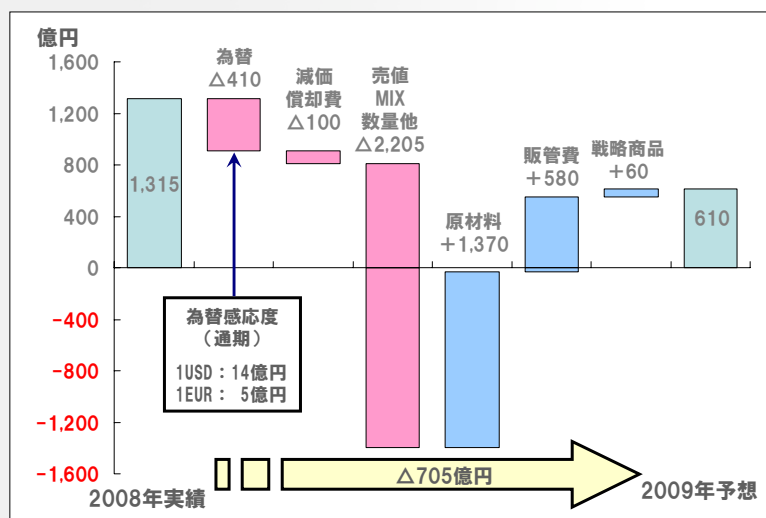
2009年通期 連結業績予想

(単位:億円) 参考
【'09/6/25発表】

	2008年 通期実績	2009年 通期予想	増減(%)	2009年 通期予想
売上高	32,344	26,100	△19	26,200
タイヤ部門	26,291	21,500	△18	
多角化部門	6,255	4,700	△25	
営業利益	1,315	610	△54	560
経常利益	744	320	△57	240
当期純利益	104	60	△42	0
USDドル	104円	95円	△9円	95円
ユーロ	153円	126円	△27円	126円

5

連結営業利益増減要因 (2009年通期予想)



6

2009年上期実績／通期予想 戦略商品販売動向

販売本数 対前年増減率(%)			2009年 上期実績	2009年 通期予想
乗用車用 ラジアルタイヤ (市販用)	ランフラットタイヤ		125%	130%
	UHP(超高性能)タイヤ		100%	110%
	ウィンタータイヤ		100%	105%
特殊タイヤ	建設・鉱山車両用 ラジアルタイヤ	超大型	105%	105%
		大型	95%	90%
	航空機用ラジアルタイヤ		75%	85%
	モーターサイクル用ラジアルタイヤ		65%	70%

(*) 超大型・大型ORRはゴム量ベース

日本セグメント業績概要

(単位: 億円)

	2008年 第2四半期 累計実績	2009年 第2四半期 累計実績	増減(%)	2008年 通期実績	2009年 通期予想	増減(%)
売上高	6,562	4,493	△32	13,219	10,100	△24
営業利益(*)	399	△310	—	689	140	△80
営業利益率 (%)(*)	6.1	△6.9		5.2	1.4	

(*): △は損失

米州セグメント業績概要

(単位:億円)

	2008年 第2四半期 累計実績	2009年 第2四半期 累計実績	増減 (%)	2008年 通期実績	2009年 通期予想	増減 (%)
売上高	7,136	5,396	△24	14,172	11,300	△20
営業利益	191	52	△72	216	220	+2
営業利益率 (%)	2.7	1.0		1.5	1.9	

欧州セグメント業績概要

(単位:億円)

	2008年 第2四半期 累計実績	2009年 第2四半期 累計実績	増減 (%)	2008年 通期実績	2009年 通期予想	増減 (%)
売上高	2,616	1,689	△35	4,748	3,700	△22
営業利益(*)	21	△125	—	△48	△70	—
営業利益率 (%)(*)	0.8	△7.5		△1.0	△1.9	

(*) : △は損失

その他地域セグメント業績概要

(単位:億円)

	2008年 第2四半期 累計実績	2009年 第2四半期 累計実績	増減 (%)	2008年 通期実績	2009年 通期予想	増減 (%)
売上高	3,035	2,341	△23	5,993	4,900	△18
営業利益	203	86	△57	354	260	△27
営業利益率 (%)	6.7	3.7		5.9	5.3	

2009年配当金

中間配当金 (支払開始予定日:2009年9月1日)	8円
期末配当金(予想)	8円
年間配当金(予想)	16円

不況のトンネルを抜けた 後に向けた経営の考え方

13

不況のトンネルを抜けた後に向けた経営の考え方

■経営の基本は中期経営計画

⇒中計で定めた「あるべき姿」は変わらない
行うべき施策は着実に実行する

■施策実行にあたっての考え方

「先を見据えながら、足元を固める」
⇒Lean & Strategic な 経営姿勢

Lean: 全てのリソースがマネジメントできている状態
経営活動の中で無駄なく柔軟かつ効率的に活用できている

Strategic: 成長体質と増益体質を作るために、
必要なリソース投入を重点的かつスピーディに行う経営姿勢

14

不況のトンネルを抜けた後に向けた経営の考え方

■Lean & Strategicの視点に基づいた事業活動

1)徹底したLeanなオペレーション体質づくり

A. サプライチェーン全体での競争力強化

B. 販売体制の最適化

⇒国内市販用タイヤ・化工品販売体制再編

2)Strategicな施策の推進

戦略的に進めていく施策への重点的なリソース投入

15

不況のトンネルを抜けた後に向けた経営の考え方

■戦略的に進めていく施策

1. 北九州新工場 生産開始前倒し（9月⇒6月）

建設・鉱山車両用超大型タイヤの堅調な需要に対応



初出荷(6/16)の様子



開所式(8/4)の様子

16

不況のトンネルを抜けた後に向けた経営の考え方

2. ECOPIA商品群:

本格的なグローバル展開開始(北米・欧州・韓国)
トヨタ自動車株式会社「3代目プリウス」納入開始

3. 第3世代ランフラットタイヤ商品化

新技術採用によりノーマルタイヤ(通常タイヤ)と遜色ない乗り心地を達成



ECOPIA EP25(3代目プリウス装着)



ローマでのランフラット試乗会の様子

不況のトンネルを抜けた後に向けた経営の考え方

4. リトレッドを活用したソリューションビジネス

日本・アジア・中国:ソリューションビジネスにおける成長市場

1) 日本⇒「エコ バリュー パック」の展開推進

リトレッド ファクトリーの拠点増設

2) タイにリトレッド部材工場を建設(2010年11月生産開始予定)

5. 電子ペーパー 本格販売



リトレッド部材工場 定礎式の様子
(Bridgestone Bandag Manufacturing (Thailand) Co., Ltd.)



電子ペーパー

免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。